

事務局・連絡先

原町区小川町539-8
電話 0244 (23) 4678

新しい春 芸文協はがんばる

芸文協会長 渡部 紀佐夫

あの寒さと意外に雪が多かったこの冬も、3月を迎え急に春めいてまいりました。令和4年3月、卒業の季節を経て、間もなく、桜の花の咲くころになると、希望に胸を膨らませ幼稚園から大学まで、入園・入学の季節がやってきました。しかし新型コロナウイルスの勢いは衰えるどころか、当市においても施設の利用が一時止められるなど、マスクも外せない毎日が続いております。折角の晴れの式典に家族の出席も制限されるなど残念な状況も心配されます。

さて、私どもの芸文協は昨年、2年ぶりに文化祭を開催いたしました。開催にあたり、「コロナ禍の状況下」で開催は大丈夫なのかとの意見もありました。しかし、会場のゆめはつとの担当者からコロナ対策について懇切なるご指導の下、われわれも役員・会員一同防災対策をし、無事、大過なく開催できました。ただただ安心いたしました。

年度が明けて 新たな事業計画、事業の実施には、それに伴う会議の開催などにおいて課題の山積も予想されます。この状況下、その準備をしなければと思いつつ、一抹の不安は残ります。

報道で見聞するところによりますと、感染は高止まりといわれる一方、落ち着きを取り戻しつつあるともいわれます。役員・会員の協力により会を盛り上げますので、市民の皆さまの応援よろしくお願い申し上げます。

「令和4年度 各団体の紹介」

Aタイプ（4～9月の計画）またはBタイプ（本年度の抱負）で紹介します。末尾の▽は、お問合せ先（住所・電話番号）です。

文芸・研究部門

◇海岸線同人会

『海岸線』という総合文芸誌を発行する地元では数少ない会です。会員がもつと増えてほしいのです。皆さんの入会をお待ちしております。
▽Tel 0244-2314678

◇南相馬市原町俳句連盟

オリンピック「五輪から共生へ」の大会は、延期はされたが大過なく終り、福島を今を発信できたのは何よりでした。コロナウイルスの第6波も落ち着いてきました。本会は、年中行事がすべて中止の状態でしたが、今年には明るい兆し見え始め、この地ならではの句を詠むべく努めたものです。
・日帰り吟行会 5、6月頃 相双地区内を予定しています。
・けやき・土筆・寒梅・ひよんの木まどろの各吟社があります。
▽Tel 0244-2315835

◇原町短歌会

アララギ派の短歌会です。コロナ禍のため、活動を休止しています。
▽Tel 0244-2214428

◇はらまち史談会

郷土の歴史ほか、興味のあるテーマについて話題にし、博物館や史跡を見学したり、文書を読んだりします。身近な地域に資料を集めて研修します。博物館の収蔵資料も覗いてみます。
▽Tel 0244-2314678

美術部門

◇鶴林書道会

本会は、焯心書道会の支部を兼ね、月例会や会報発行等により鍛錬に励んでいます。
焯心誌は楷書、行書、草書を初め、条幅や「かな」、一字書など幅広い課題を自由に選択できるため、毎月の配本が楽しみであり、書道に対する意欲にもなっています。
▽原町区深野字塩塚80
Tel 090-53558-2351

◇幽美会

書道の会です。今年度の上半期予定は次のとおりです。
・学習会 4月～1月
毎月1回第2月曜日 10時～
ひばり生涯学習センター 和室
・錬成会への参加
・幽美会書展(10月)への準備
・市、県美展への出品参加の推進
・各種展覧会への積極的な出品参加並びに参観・会員拡大
・交流会及び懇親会の開催
▽原町区大木戸字松島115-34
Tel 0244-2214375

音楽・演劇部門

◇ニューアートサウンズオーケストラ

本会は、ジャズバンドで、県内外のフェスティバルに参加してきました。これまでの主な活動としては、次のとおりですが、最近、コロナのため、練習も発表もままならぬ状況

です。今年こそは、と考えています。

・にじをつなぐ友・有・悠
5月
・音楽仲間をつどい 6月
・定禪寺ストリートジャズフェスティバル 9月
▽Tel 090-8788-7629

◇原町謡曲同好会

①原町宝生会

二年以上にわたるコロナ禍により当会の活動も停滞し、発表する機会も少なくなり、稽古にも身が入らない状況が続いております。
その中でも、一昨年は2月に謡初会を森の湯で行い、昨年には10月に新地の観海ホール、11月には芸文協発表会に参加することができました。まずは、コロナ感染が早期に終息し、マスク無しで伸びのびと発声できることを懇願しております。
▽原町区橋本町1-107
Tel 0244-2312603

②観世流励誦会

今年度上半期の予定は次のとおりです。
・毎週土曜日14時から素謡と仕舞の稽古
ひばり生涯学習センター
・観桜会 素謡と仕舞
4月17日(土) 13時
ひばり生涯学習センター
ゆかた会 素謡と仕舞 8月
ひばり生涯学習センター
◎見学はいつでも可能です
▽Tel 090-625710661



◇野馬追相撲甚句会

大相撲では昔から相撲甚句が唄われました。私どもは、この歴史ある唄を受け継ぎ毎年3月東京の発表会に参加し4月以降は、各種イベントに招かれて出演しています。そのために、第2・4木曜日に高平生涯学習センターで定例会(練習)を実施しています。公開していますので、いつでもお出でください。

▽Tel 0244-2217055

◇原町女声合唱団

私たち原町女声合唱団は、今年創立47周年を迎えます。ここ2年はコロナの感染拡大により思うような活動はできませんでしたが、皆で顔を合わせ心を合わせて創るハーモニーは最高です。二本松先生の楽しいご指導の下これからも歌っていきたいと思っています。

▽Tel 0244-3615896

◇原町メンネル・コール

・サロン・コンサート2022
開催日等詳細は、新型コロナウィルス、オミクロン株の状況により
ます。

・第22回そうま地方合唱を楽しむ会
合同発表会

9月4日(日) さくらホール

※新型コロナウィルス、オミクロン株の状況により、延期もしくは中止になる場合があります。

▽原町区三島町2-101-2

Tel 0244-2315432

◇全日本演歌連盟 原町信和会

結成35年。会員9名で、ボランティア活動、主に24時間テレビ、老人ホーム等の慰問活動をしました。令和4年度もいろいろな場面で歌います。今年度は、会員3名募集します。演歌専門です。

▽Tel 090-202713432

◇原町ひばりハーモニカ愛好会

わが会は、会員相互に協力し合い素晴らしい音色を奏するべく練習に励んでおります。ハーモニカ演奏に興味のある方、私たちと音の楽しさを共有しませんか？
童謡・唱歌や懐かしい曲等幼い頃や若かった頃を思い出すべく、是非ご参加ください。お待ちしております。初心者も大歓迎です。

▽相馬市中村字笹川41-19

Tel 090-455413998

◇横山慶子舞踊学園原町スタジオ

創立66周年を迎えた当舞踊学園は、舞踊を通して情操を高めることを目的として、さまざまな洋舞を楽しくレッスンしております。
その中のひとつ原町スタジオは、バレエを中心にハワイアンフラなどの洋舞レッスンを行っております。

▽Tel 090-76621440

◇静山流詩舞亮静会

詩舞は、詩吟などにより舞う舞で、剣舞の流れを受け継ぎます。本会はそのような会の一つです。
定期稽古 毎週月 午後7時
ひばり生涯学習センター
施設慰問 年一回

▽原町区栄町3-197

Tel 090-668317326

◇日本舞踊・歌謡舞踊小藤流 晶の会

本会は、小藤流のうちの一つの会です。上半期の予定は次のとおりです。
・小藤流本部「春のおどり」参加
4月24日(日)
なお、秋の芸文協文化祭に参加予定。

▽原町区大原字館沼131

Tel 080-602213394

生活文化部門

▽原町区大原字館沼131
Tel 080-602213394

◇原町区華道連合会

華道5流派より成る会です。5流派とは、草月流 未生流 福島未生会・華道家元 池坊原町会・原町龍生会・小原流の5つです。
今年度上半期の行事は次のとおりです。
・こどもいけばな教室
日本の伝統文化に対する関心や理解を 深める目的で、今年も開催いたします。

対象者 市内小学1年生～中学3年生
場所 原町区内各生涯学習センター
申込み 5月、教室 6月～来年3月
銘醸館いけばな協力 4月
原町区華道連合会 総会 5月
▽Tel 0244-2315607

◇大日本茶道協会 原町支部

コロナのため、昨年文化祭にはお茶席を設けることができませんでしたが、今年は、皆さまにご披露できることを願っております。
総会 5月予定
春季練成大会 6月予定
昇伝審査会 9月予定
▽原町区栄町3-1130
Tel 0244-2214204

◇原町山草会

本会の春の展示会は、4月28日～29日道の駅で開催いたします。コロナの関係で、昨年は行事ができませんでしたが、今年も秋にも展示会を行います。
暗い話題が多いこの頃ですが、ホットな話題を一つ。：わが家の玄関のひさしの桁に、2月下旬から夕方6時頃キビタキが寝ぐら求めてやってきました。翌朝6時頃出かけてまた夕方戻ります。コロナ禍の中、わが家の福の神だと喜んでいきます。
▽Tel 0244-2315048

◇芸文協って何？

南相馬市内の文化団体連合体が、南相馬市芸術文化協会です。芸文協は、芸術文化協会の略称で、小高区、鹿島区、原町区にそれぞれあります。
わが原町区芸文協は、南相馬市から補助金の支援を受けつつ、会費を集めて、この芸文協だより「会報」の発行や「文化祭」(合同発表会)開催などの事業を行っています。
東日本大震災で、団体数・会員数も半減し、その後も減少が進み、高齢化が進んだところにコロナウィルスが蔓延し、開催場所にもこと欠き、活動が窮屈になりました。

◇文化活動の意味って？

最近、文化活動は単なる趣味ではなく生きがいであり、人と人を結ぶ絆ともなっています。よりよく生き、人と潤いを分かち合い、人の心を癒し、自分も癒される、がんばるもとです。コロナ蔓延の終息は延びのびですが、耐えています。気持ちの一端は、上記の文中に垣間見えないでしょうか。

◇文化活動を守るために

文化活動を守るためには、会員の数が増え、若返り続けることです。若い世代の方々の参加、あるいは、若い方々の団体の芸文協加入です。
皆さん、お待ちしています。

芸文協です

今年もよろしく!

※今回、原稿が間に合わない場合は、昨年までの情報などにより、事務局が概要をまとめました。詳細は、問合せ先にご確認ください。